

J:COM がラグビー日本代表を応援！！ 全国から集めた千羽鶴を日本代表選手に贈呈



〈(左から) 田中史朗選手、ヴァンピー・ファンデルヴァルト選手、
アニセサムエラ選手、レメキロマノラヴァ選手、堀江翔太選手〉



〈オリジナル折り鶴〉

ラグビー日本代表のオフィシャルサポーターである株式会社ジュピターテレコム(J:COM、本社：東京都千代田区、代表取締役社長：井村 公彦)は、2019年9月6日(金)、県営熊谷ラグビー場で開催される「リポビタンD チャレンジカップ 2019 日本代表対南アフリカ代表」戦の試合前に、日本代表選手5名へ全国から集めた応援メッセージ付き千羽鶴を贈呈しました。

この千羽鶴は、「J:COM presents ラグビー日本代表応援 千羽鶴プロジェクト」と題した、ご自身の写真が入ったオリジナル折り鶴を集める参加型企画で制作され、J:COM がラグビー日本代表の応援機運を盛り上げるとともに、ラグビーファンの想いをお届けするため、2018年10月26日(金)より全国でオリジナル折り鶴を作るイベントを実施してまいりました。2019年8月末までに全国各地のラグビーイベントや J:COM オリジナルイベント等で計21回実施し、延べ参加者数5,893人(ご家族連れ含む)、合計2,143羽の応援メッセージ付き折り鶴が集まりました。

J:COM は、公益財団法人日本ラグビーフットボール協会(JRFU)が掲げる「ラグビー日本代表の強化」および「日本におけるラグビースポーツの普及拡大」という目標に賛同し、2018年3月、JRFUと「ラグビー日本代表オフィシャルサポーター」契約を締結いたしました。今後も、放送のみならず、地域密着で事業展開する J:COM ならではの取り組みを進めてまいります。

ますます盛り上がりを見せるラグビーの熱い闘いをぜひ J:COM で楽しみください。

ジュピターテレコムについて www.jcom.co.jp/

株式会社ジュピターテレコム(本社：東京都千代田区)は、1995年に設立された国内最大手のケーブルテレビ事業・番組供給事業統括運営会社です。ケーブルテレビ事業は、札幌、仙台、関東、関西、九州・山口エリアの11社71局を通じて約551万世帯のお客さまにケーブルテレビ、高速インターネット接続、電話、モバイル、電力、ホームIoT等のサービスを提供しています。ホームパス世帯(敷設工事が済み、いつでも加入いただける世帯)は約2,161万世帯です。番組供給事業においては、17の専門チャンネルに出資及び運営を行い、ケーブルテレビ、衛星放送、IP マルチキャスト放送等への番組供給を中心としたコンテンツ事業を統括しています。

※上記世帯数は2019年6月末現在の数字です。

J:COM は、ラグビー日本代表のオフィシャルサポーターです。